平成24年度当初予算　予算要求シート

整理番号	14 － 026	マスタープラン 3つの挑戦	子育て	マスタープラン 施策番号	3 － 1	局・課名	子ども青少年局子ども育成課
区分	新規・拡充・重点						

（単位　千円）

事　業　名	（仮称）不妊・不育症支援事業
関連事業	妊産婦・乳幼児等保健指導事業

	平成22年度決算額	平成23年度予算額	平成24年度要求額
事　業　費		0	5,795
事業期間	H　～　H	全体事業費	

事業目的

不妊症・不育症についての啓発及び相談事業を実施することにより、不妊症や不育症で悩む方の不安を軽減し、安心して出産を迎えることができるよう支援を行う。

今年度要求のポイント

国の平成２４年度予算概算要求では、不妊治療等への支援の一環として、不育症に悩む人への相談体制の充実が盛り込まれた。
本市において、医師等による不妊症・不育症に関する専門相談体制を構築する。

事業内容

1. 不妊症・不育症等の啓発
不妊症・不育症について情報提供を行うため、リーフレット等を作成。また、不妊症・不育症に関する講演会を実施。

2. 相談事業の実施
医師等による検査・治療などの相談事業を実施。

主な要求内容

（単位：千円）

項目	23年度予算	24年度要求額	内容・積算等
報償費		2,663	医師相談謝礼、従事者研修会講師謝礼、助産師謝礼
旅費		59	従事者研修旅費（講師旅費派遣研修旅費）
使用料		55	会場借り上げ(従事者研修会)
需用費（消耗品・印刷製本費）		663	啓発リーフレット、ポスター、相談票など
通信運搬費		21	医療機関資料送付等
委託料		2,334	講演会費用
その他			
合計	0	5,795	

【経過（～23年度）】
庁内ワーキンググループにおいて、支援等について検討。不育症患者へのアンケート実施。

【24年度】
医師等による不妊症・不育症に関する相談を開始。

【今後（25年度～）】
講演会や相談への参加状況により、啓発相談体制の内容等の見直し、検討を行う。

その他　特記事項